

断熱リフォーム“ハウス IN ハウス”ネットワーク 実棟計測で改修後の室温と内壁の温度差を大幅に低減 ～今後も「体感温度」の見える化を継続的に推進～

ハイアス・アンド・カンパニー株式会社（本社：東京都港区 代表取締役：濱村聖一 以下、ハイアス）は、非破壊、短工期、価格明示の部分断熱改修「ハウス IN ハウス」ネットワークにおいて、実棟による温熱環境計測を実施し、香川県高松市のケースで、改修部分と非改修部分の室温と内壁表面温度差の断熱改修効果において、4倍の差を確認しました。

今回の計測は、「ハウス IN ハウス」の香川県高松市にあるモデルハウス他、実棟モデルにおいて温熱計測実証検証を行いました。室温と内壁表面の温度差があることが、温熱の不快感の一因で、体感温度にも影響があると言われていたのですが、測定の結果、「ハウス IN ハウス」による改修済みエリアと既存維持エリアを比較すると、香川県高松市で室温と内壁表面との温度差は断熱改修済みエリアで1.3℃、非断熱エリアで5.3℃と4倍の差が計測され、室温差以上に快適性向上に効果があることが確認されました。[図1参照]

ハイアスでは、「ハウス IN ハウス」事業を全国で60社を超える企業様とともに展開しております。消費者にとっては決して安くはない投資であるリフォーム。それゆえ機能の回復や向上、美観の維持といった分かりやすい変化もさることながら、断熱リフォームがもたらす“効果”がより分かりやすくなれば投資判断もしやすくなると考えています。そこで、ハイアスでは、部分断熱改修によってできる断熱改修エリアと既存維持エリアにおける室内温熱環境の「体感差」を見える化することで、住まい手に断熱リフォームの効果をより分かりやすく伝える新たな情報提供を検討してまいります。

今後は、ハイアスの「R+house(アール・プラス・ハウス)」事業で慶応義塾大学と共同で行っている健康調査とも連動し、新築やリフォームの区別無く、断熱への配慮がもたらす「健康効果」に視野を向けながら、継続して調査を行っていきたくと考えております。

「ハウス IN ハウス」事業では、引き続きお施主さまに「リフォーム」後の安心・安全の提供を通じ、消費者から信頼される商品提供に取り組んで参ります。

【図1】



【温熱環境計測 実施概要】

- ・計測場所：香川県高松市の「ハウス IN ハウス」モデルハウス
- ・計測期間：2015年1月24日
- ・計測方法：各棟でハウス IN ハウスによって改修済みの部屋と既存の部屋の内装壁面の表面温度、室内気温を計測

■ ハイアス・アンド・カンパニー(株) 会社概要

- 設立：平成17年3月 ○ 資本金 11,425万円
- 所在地：東京都港区白金台 ○ 社員数 80名
- 事業内容：財産コンサルティング事業、住宅・建設・不動産事業のナレッジ開発、販売促進支援事業など
- 会社 URL：<http://www.hyas.co.jp> ○ 各種ソリューション紹介：<http://view.hyas.co.jp/>